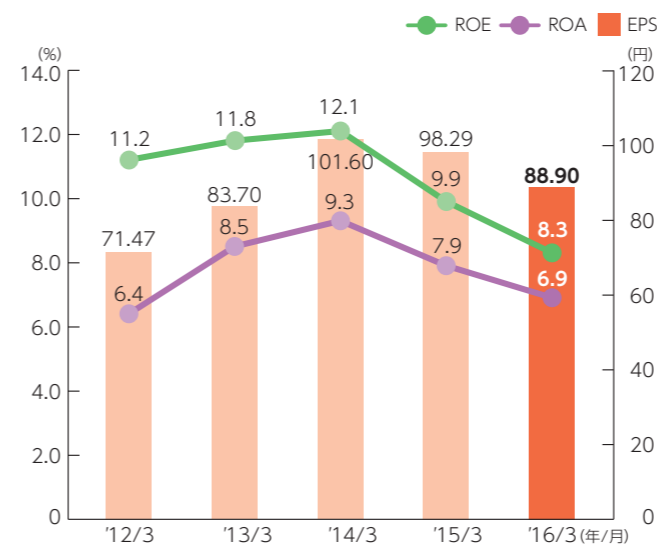


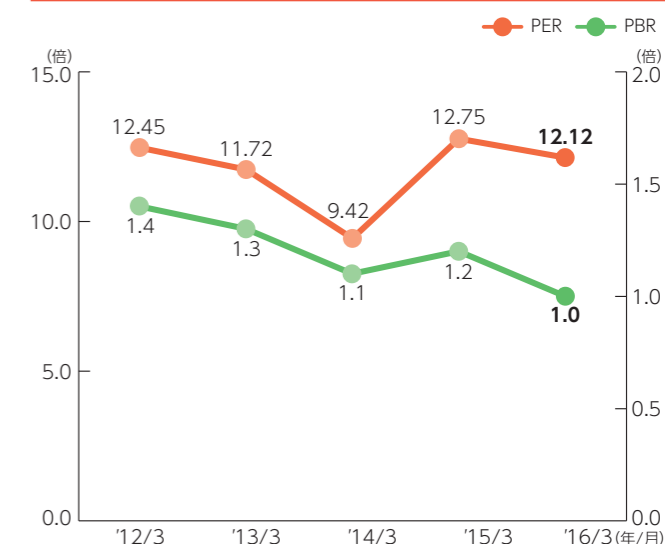
財務ハイライト2015 (5年間の連結財務指標)

経営成績	決算期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
売上高	(百万円)	440,752	507,985	569,711	601,434	640,516
営業利益	(百万円)	22,493	30,020	37,480	32,702	35,041
売上高営業利益率	(%)	5.1	5.9	6.6	5.4	5.5
経常利益	(百万円)	23,884	34,907	41,436	39,075	36,111
売上高経常利益率	(%)	5.4	6.9	7.3	6.5	5.6
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	16,741	20,333	24,677	23,873	21,592
売上高当期純利益率	(%)	3.8	4.0	4.3	4.0	3.4
収益性						
ROE(自己資本利益率)	(%)	11.2	11.8	12.1	9.9	8.3
ROA(総資産経常利益率)	(%)	6.4	8.5	9.3	7.9	6.9
EPS(1株当たり当期純利益)	(円)	71.47	83.70	101.60	98.29	88.90
PER(株価収益率)	(倍)	12.45	11.72	9.42	12.75	12.12
PBR(株価純資産倍率)	(倍)	1.4	1.3	1.1	1.2	1.0
財政状態						
総資産	(百万円)	393,695	425,050	464,972	529,899	509,810
自己資本	(百万円)	154,911	190,000	218,269	262,654	257,243
自己資本比率	(%)	39.3	44.7	46.9	49.6	50.5
設備投資	(百万円)	20,370	25,506	20,713	20,671	27,392
減価償却費	(百万円)	21,371	21,393	21,042	21,448	23,582
研究開発費	(百万円)	10,055	11,750	13,803	15,702	16,328
売上高比率	(%)	2.3	2.3	2.4	2.6	2.5
株主還元						
配当金	(円)	15	16	20	20	22
配当性向	(%)	21.0	19.1	19.7	20.3	24.7
キャッシュ・フロー						
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	26,063	29,222	43,798	44,858	42,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△27,130	△29,129	△27,914	△24,433	△35,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	9,347	△10,311	△16,200	△5,264	△13,672
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	58,773	57,009	61,993	83,439	72,238

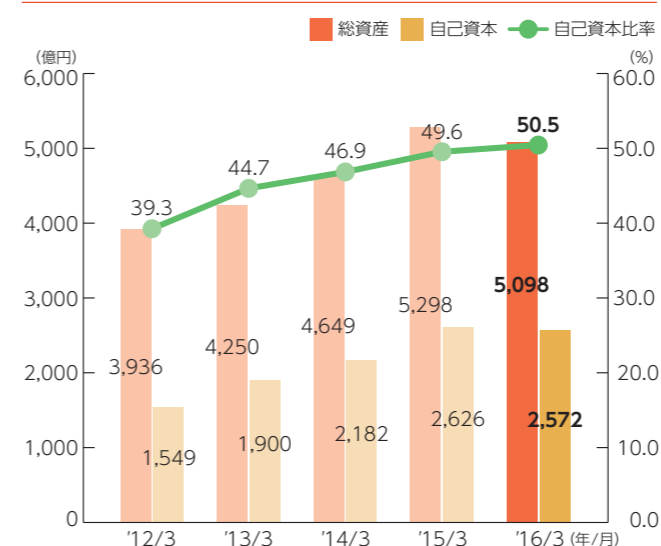
収益性 (ROE/ROA/EPS)



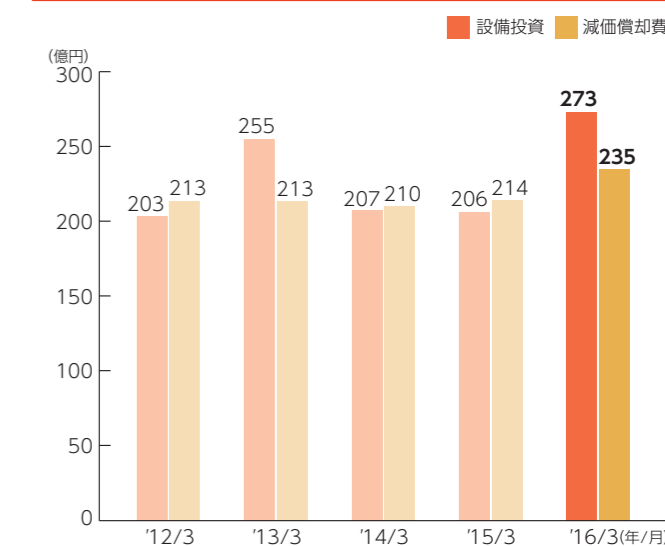
収益性 (PER/PBR)



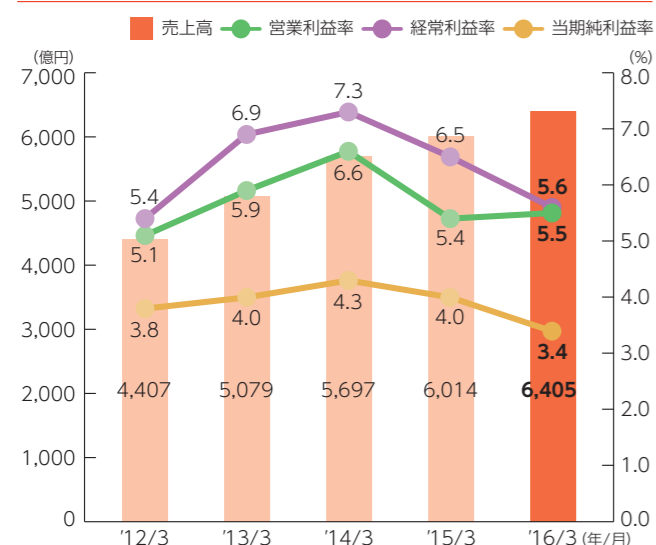
財政状態



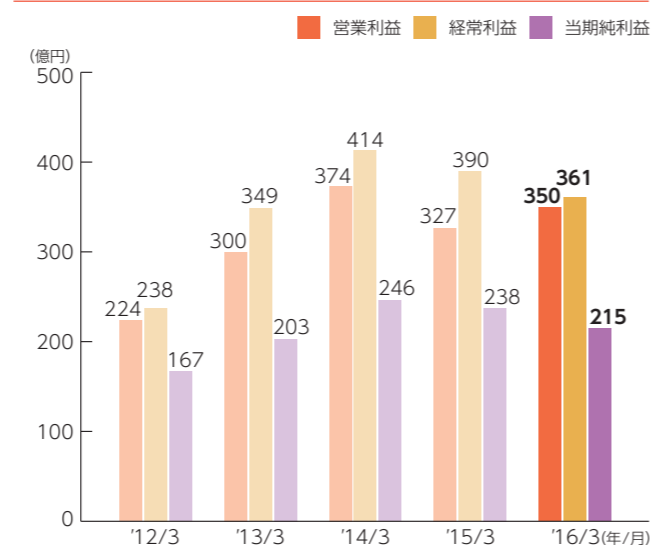
設備投資/減価償却費



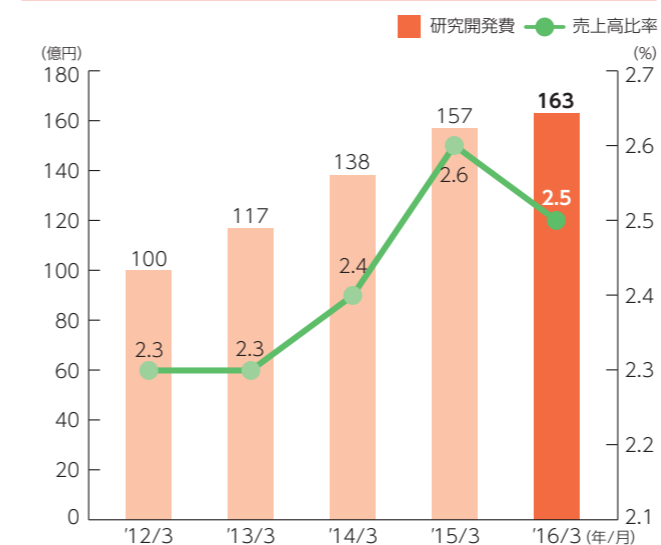
売上高



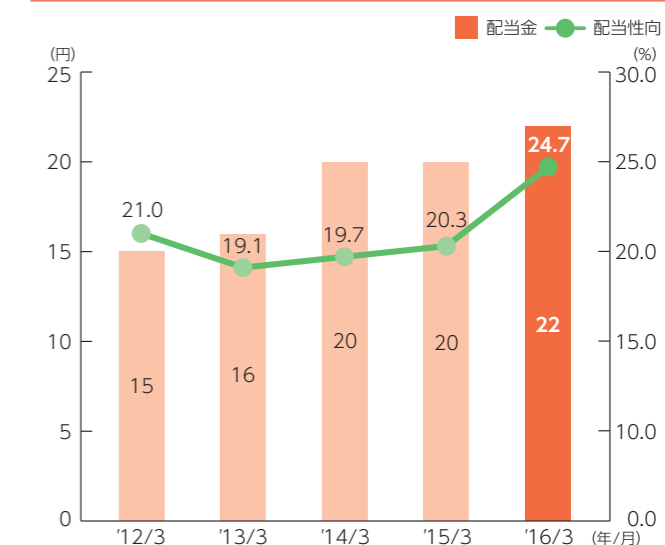
営業利益/経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



研究開発費



株主還元



2015年度の経営成績

2015年度における日本経済につきましては、個人消費には弱さが見られるものの、良好な企業収益や雇用環境の改善などがあり、景気の回復は緩やかながらも継続しております。一方、世界経済につきましては、欧州は景気回復の動きが減速しておりますが、米国は雇用環境の回復と好調な個人消費により、拡大基調が堅調に継続しております。アジア地域においては、中国は引き続き景気回復に減速が見受けられ、タイは回復の動きが緩やかなものにとどまっております。その他の地域でも、経済成長に減速が見られるようになっております。当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、国内販売は軽自動車税の増税の影響などがあり、4,937千台で前期比6.7%の減少となりました。完成車輸出は、4,582千台で前期比2.0%の増加となりました。これにより、国内の自動車生産台数は、9,187千台で前期比4.2%の減少となりました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報通信関連は、データセンター向けは堅調なものの、パソコン向けが減少したことにより、HDD（ハードディスクドライブ）の受注は前期比で減少いたしました。以上のような経営環境および円安環境のもと、売上高は640,516百万円（前期比6.5%増）となりました。また収益面では、営業利益は35,041百万円（前期比7.2%増）、経常利益は36,111百万円（前期比7.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は21,592百万円（前期比9.6%減）となりました。

2015年度の財政状態

2015年度末の総資産は、現金および預金や投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べ20,088百万円減少し、509,810百万円となりました。負債については、社債の償還や営業債務の減少等により、前連結会計年度末に比べ15,033百万円減少し、239,972百万円となりました。純資産については、親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金の増加がありましたが、為替換算調整勘定や退職給付に係る調整累計額の減少などにより、前連結会計年度末に比べ5,055百万円減少し、269,837百万円となりました。

2,179百万円の減少となりました。これは主に運転資金が増加したことによるものです。投資活動の結果支出した資金は、35,127百万円と前期と比べ10,694百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出の増加によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローの結果、13,672百万円の支出超過となり、前期と比べ8,407百万円の支出増加となりました。これは主に社債の償還による支出によるものです。営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差し引いたフリー・キャッシュ・フローは7,546百万円となりました。以上の結果、当期における現金および現金同等物は前期末に比べ11,200百万円減少し、72,238百万円となりました。また、社債、コマーシャル・ペーパーおよび長期・短期借入金は57,331百万円と前期末に比べて7,187百万円減少しました。

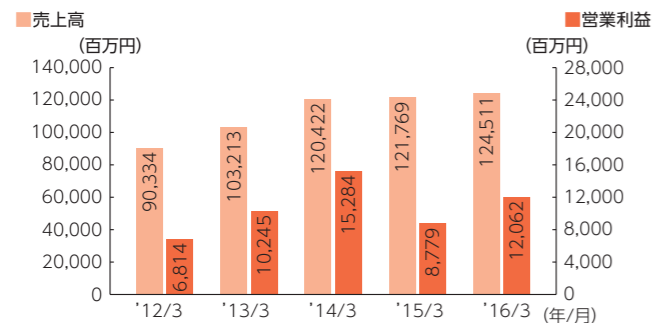
キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金は、42,674百万円で前期と比べ

2015年度の事業別セグメント概況

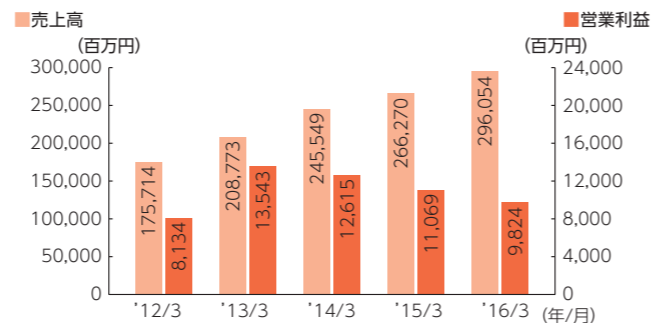
【懸架ばね事業】

懸架ばね事業は、自動車生産が日本で減少したものの、北米で増加したことにより、売上高は124,511百万円（前期比2.3%増）、前年度発生した北米での増産対応費用が減少したことにより、営業利益は12,062百万円（前期比37.4%増）となりました。



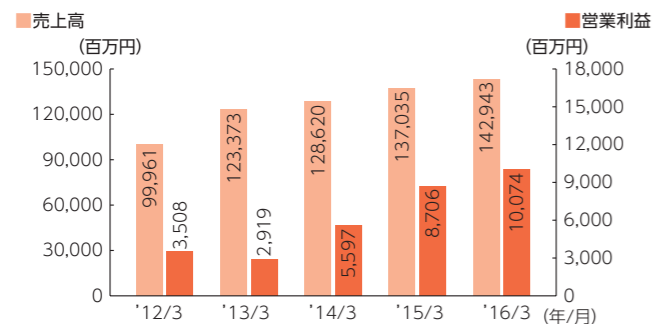
【シート事業】

シート事業は、主要客先の自動車生産が国内海外で増加したことにより、売上高は296,054百万円（前期比11.2%増）となりましたが、受注車種構成の変化などにより、営業利益は9,824百万円（前期比11.2%減）となりました。



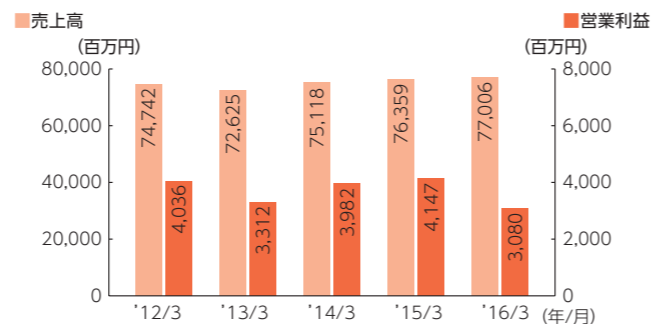
【精密部品事業】

精密部品事業は、海外での自動車生産の増加と為替効果により、売上高は142,943百万円（前期比4.3%増）、営業利益は10,074百万円（前期比15.7%増）となりました。



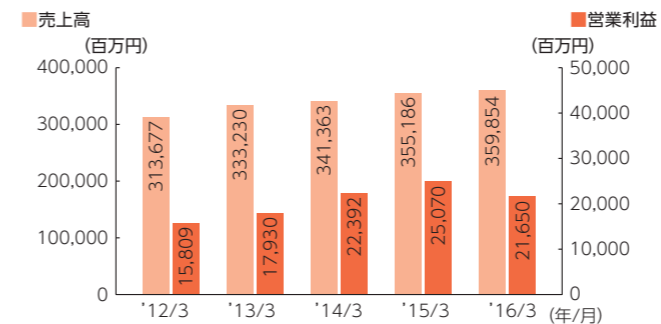
【産業機器ほか事業】

産業機器ほか事業は、国内での売上増加により、売上高は77,006百万円（前期比0.8%増）、一部事業での費用増加により、営業利益は3,080百万円（前期比25.7%減）となりました。

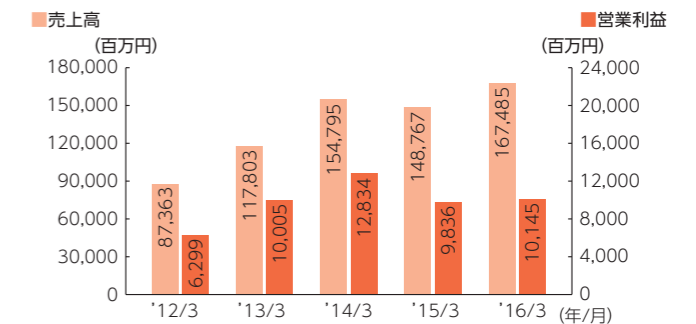


(参考)所在地別セグメント概況

【日本】



【アジア】



【北米ほか】

